

② 主催

文部省、県教委

③ 講座開設要項

開催期間 8月5日(月)~10日(土)6日間

会場 県立福島高等学校理科室(新館1, 2階)

受講者数 男31 女5 (計36)

④ 講座内容および講師

イオン反応の基礎的諸問題 生成成について (講義)	福島大学助教授 小山 侃 福島大学助教授 高取正之
高校理科教育における視聴 覚教育について (講義, 実演, 討論)	福島商業高校教諭 加藤留義 指導主事 藤井 勇
生徒実験を中心とした授業 (授業, 講義, 討論)	福島高等学校教諭 松本和郎 指導主事 中野正彦
教師実験をふくむ授業 (授業, 講義, 討論)	福島高等学校教諭 大槻 進 指導主事 中野正彦
化学AおよびBにおいて生 徒実験教師実験をどう配列 するか(研究発表, 討議)	県立教育調査研究所 研究係長 米沢茂美
改良工夫された実験の紹介 (研究発表, 討議)	福島高等学校教諭 野地勝位

⑤ 実施状況および所見

夏期休業中の暑い6日間であったが福島大学の両先生をはじめ福島高校の先生方を中心とした講師陣の熱心な準備と御指導で講習の先生方も時間一杯あきることを知らないという状態であった。

特に福島高校の二年生の諸君には授業に参加していただいで全く効果の著しい講習であった。小・中・高校とも経費の支出が円滑でないのは国費の関係もあるがくふうを要する点である。

(3) 東北・北海道地区理科器械修理技術講習会

① 目的

理科担当教員を対象に、理科器械の修理、自作に必要な技術の修得とあわせて理科器械の取扱い等の基礎的な指導を行ない理科用品の効果的な使用に役立たせる。

② 主催

文部省および福島県教育委員会

③ 講座開設要項

開催期間 7月22日(月)~7月25日(木)4日間

会場 福島市立福島第二中学校

受講者数 (男88 女2)計90

④ 講座内容および講師

理科の伸びる生徒に (講義, 実験, 討議)	大阪交通短期大学教授 木平孝男
身近にある新しい材料を 用いた物理の実験 (講義, 実験, 討議)	福島市立福島第二中学校 教諭 国分道男 " 田中 隆 千葉大学助教授 伊神大四郎 福島市立福島第二中学校 教諭 関根千代二

理科実験装置の工夫について (講義, 実験, 討議)	// 吉田悦郎 奈良学芸大学教授 岡崎良吉 福島市立福島第二中学校 教諭 寺島八郎 " 田中雅邦
理科器械の製作修理 (実習, 指導)	木平, 伊神, 岡崎各講師 島津製作所製造部 佐藤秀治
全般	文部省初等中等教育局 財務課 田中穠生

⑥ 実施状況および所見

全国5地区のうち第一陣を受けもって夏期休暇頭初に行なったので開催準備や連絡に困難を感じたが、会場校である福島第二中学校の西沢校長をはじめとして教職員の方々の大きな協力によって成功裡に終了できた。

暑い盛りの時であったが、北海道他東北6県からそれぞれ熱心な先生方が集まられただけあって、昼休みの時間ももどかしいと言う状態である。文部省派遣の講師の方々も遠路の汽車を下りられると休憩の暇もなく、早速会場に來られ荷を解いて講習の準備をされるという熱心さに、準備の手伝いをした私共一同頭の下る思いして理科教育指導の厳しさに打たれた次第である。

(4) 中学校技術・家庭科技研修会

ア 目的

中学校の技術・家庭科を担当する教員を対象としてこの教科の実技に関する指導能力の充実向上をはかる。

イ 主催

文部省、福島県教育委員会

ウ 日程, 期日, 会場

エ 参加者

県北30名 県南40名 会津40名 浜40名

オ 講師

地区実技研修会に参加した者および中学校教員をもってあてる。

会場名	部会名	機 械	電 気	家庭機械	備 考
福島 2 中		7/22~7/25	8/6~8/8	7/22~7/25	9時~16時
近 津 中		"	"	"	"
若 松 2 中		"	"	"	"
原 町 2 中		"	"	"	"

第7節 産 業 教 育

昭和38年度は国策に基づく産業教育の振興に対応し、さらにはまた本年度から始まる高等学校入学志願者の急増に備えるため、産業教育振興法第3条の任務のうち、

- 1 産業教育に関する教育内容および方法の改善
- 2 産業教育に従事する教員または指導者の現職教育とその養成計画の樹立およびその実施
- 3 産業教育の実施について、産業界との協力の促進